

豆腐入りハンバーグのきのこあんかけ



元気応援宣言！！

14

町生活改善推進協議会だより

《材料 (4人分)》

- ▶鶏ひき肉 (300g)
- ▶豆腐 (1/2丁)
- ▶玉ねぎ (1/2個)
- ▶卵 (1個)
- ▶しょうゆ (小さじ2)
- ▶サラダ油 (適量)

《あん》

- ・シメジ (100g)
- ・シイタケ (4枚)
- ・エノキタケ (100g)
- ・だし汁 (400ml)
- ・しょうゆ (大さじ2)
- ・みりん (大さじ2)
- ・水溶き片栗粉 (適量)

《作り方》

- ①豆腐は水切りしておく。玉ねぎはみじん切りにし、サラダ油で炒めて冷ます。
- ②鶏ひき肉、卵、①を合わせてこね、4等分して形を整える。
- ③フライパンにサラダ油を熱して②を焼き、片面に焼き色が付いたら裏返してふたをする。弱火にし、中に火が通るまで蒸し焼きにする。
- ④シメジ、エノキタケは食べやすい大きさにほぐし、シイタケは薄切りにする。③のフライパンにあんのだしを煮立て、しょうゆ、みりんを加えてキノコを入れて煮る。水溶き片栗粉を加えてとろみを付ける。
- ⑤皿にハンバーグをのせ、その上にあんをかける。



【1人分】 エネルギー (266kcal) / タンパク質 (22.7g) / 脂質 (13.2g) / カルシウム (62mg)、食塩 (2.1g)

■連絡先

日野町役場 企画政策課 (電話 72-0332)



昭和9年、日野川の豪雨被害写真

- ①日野町および旧町村に関する写真 (明治から昭和にかけての、建物や地域の風景、祭り、行事など)
 - ②日野町および旧町村に関する資料 (行政の刊行物、書籍、映像記録など)
 - ③その他の歴史的資料
- ※これらの資料をお持ちの方は、左記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用させていただく予定です。

まちの歴史に関する資料・写真を探しています。
町では、今後刊行予定の「日野町史(仮)」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る資料を探しています。次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～

第2回

「えらい／いたしい」

「えらい」は、「偉い」の意味のほか、日野では「つらい。しんどい」ときにも使われますね。外部から来た人が聞いてとまどう方言のひとつです。

同じような意味で「いたしい」も日常的によく使われます。

この「いたしい」。私たち町民にとっては、「つらい。しんどい」とはまた違った感覚だとは思いませんか？

そこをどう外部の人に説明するかが「いたしい」ところです。

日野弁ピックアップ「けが・病氣」

あやまち … けが。「あいまち」とも言う。

「昨日あやまちいしてなあ」

かぐる … ひっかく。「ネコにかぐられた」

けんびき … 肩や首のこり。「けんびきが出た」

にがる … 腹痛。シクシク痛む。「腹がにがっていけん」

はしる … しみる。ヒリヒリする。

「すり傷したとこおがはしるわあ」

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

全町一斉防災訓練

10月6日(日) 午前9時から

今年は、10月6日(日)に行います。

午前9時、一斉にサイレンを鳴らしますので、

自治会内で決められた仮避難場所などに避難してください。

① 訓練の目的

訓練を重ねることにより、防災意識の風化防止を図り、町災害対策本部と自主防災組織との連携を強化する。自主防災組織で訓練を行い、地域防災力と防災意識を高める。

② 今年度の重要課題

災害時の要援護者の安否確認、報告の徹底

③ 訓練の内容 《午前9時にサイレンを鳴らします》

- ◆ 防災無線で放送しますので、内容を確認してください。
 - ◆ 家にいる人の安否を確認し、火の始末をする。
 - ◆ 戸締りをして、懐中電灯など最小限の物品を持ち、安全な避難経路を選んで仮避難場所へ避難。
 - ◆ 防災責任者に家族の避難状況を報告。報告後は、防災責任者の指示に従う。
 - ◆ 盗難防止のため、必ず戸締りをしてから避難してください。
- ▼ 訓練中止の場合、訓練当日に突発的な災害などが発生した場合は訓練を中止します。中止する場合は、防災無線でお知らせします。

【問合せ】 役場総務課 (電話72・0331)



これからも地域医療の拠点病院として

日野病院組合管理者 景山 享弘

8月30日に開かれた日野病院組合議会において、平成24年度病院事業会計の決算認定を承認していただきました。病院開設以来、赤字経営が続いておりましたが、平成19年度決算から連続6年単年度黒字となり、累積欠損金も平成24年度決算で剰余金に転じました。これは病院経営上歴史的な出来事です。利用者の皆さまのご理解とご協力はもとより、櫃田院長を先頭に職員が一丸となった取り組みのたまものであると同時に、構成3町のご支援あってのものと思っています。

しかし、町の人口減や若者の町外流出などにより、これからの病院経営において『利用者(患者)数の減少と職員確保の難しさ』という大きな問題を抱えています。

地域医療の拠点病院として、最新医療機器や施設整備に力を入れていますので、皆さまには日野病院の利用・活用をお願いいたします。絶対に無くしてはいけない施設として職員一同頑張っております。



▶平成24年度決算の内容について、9月発行の『せせらぎ No.48』に掲載していますので、ご覧ください。